# 研究用匿名データの利用に係る誓約書

様式４

令和　　年　　月　　日

国税庁長官

　　　　　　　　　　殿

私は、（研究用匿名データを利用する研究の名称を記入）のため研究用匿名データを利用するに当たり、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

記

１　研究用匿名データの利用規約（以下「本規約」という。）に同意し、自らの立場に応じて本規約における申出者又は利用者の義務を負担すること

２　研究用匿名データの利用に関する申出書（以下「申出書」という。）及び研究用匿名データの利用に関する承諾通知書（以下「承諾通知書」という。）に記載された範囲内でのみ研究用匿名データを利用し、承諾通知書に記載のない第三者（利用者以外の者をいう。以下同じ。）の利用は行わないこと

３　いかなる場合も、研究用匿名データを用いて個体を識別する分析を行わないこと

４　研究用匿名データを利用した研究等の成果の公表に当たっては、税務データに関する秘密の保護及び公の秩序又は善良の風俗に反しないように十分配慮し、特定の個人等を識別するために当該データを利用しないこと

５　研究用匿名データは、研究用匿名データの利用に係るガイドライン（以下「ガイドライン」という。）及び本規約に従って適正な管理を行い、紛失・漏えい等がないようにすること

６　研究用匿名データを利用することによって知り得た秘密情報については、研究用匿名データの利用終了後においても、明らかにしないこと

７　本規約に違反した場合、本規約に従い貴庁が定める措置が適用されることに合意すること

８　利用期間終了日までに、研究用匿名データの利用を必ず終了すること

９　研究用匿名データを利用した研究の成果を公表すること

10　研究用匿名データの利用を終了した場合（当初の目的が達成できないことが判明した場合を含む。）には、ガイドライン第10に基づき、申出書の利用期間に記載された返却期限までに、集計等のためにハードディスク等の記憶装置に保存又は紙媒体等に出力した研究用匿名データ及び中間生成物について、専用ソフト等によって復元できないように消去又は適切に破棄すること

11　研究用匿名データの利用により何らかの不利益や損失を被ったとしても、貴庁の責任は一切問わないこと

12　その他研究用匿名データの利用に際しては、貴庁の指示に従うこと

13　研究用匿名データの利用に当たり、本規約に加えて貴庁が利用者に対し承諾通知書において付加した以下の条件を遵守すること

　（研究用匿名データの利用に当たっての追加条件）

所属機関名　　　　　職名　　　　　　　　氏名

（代表者）

利用者

利用者

利用者

利用者

利用者

備考

１　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

　２　本様式に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、申出者の許可な

くそれ以外の目的で使用しない。